

工業部会通信

(発行) 相模原商工会議所工業部会

(編集) かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042(851)2021
FAX：042(851)3532

プリントしてご自由にお読み下さい。

集まれ!工業人

「第2回会員交流大会」開催へ

南区で8月19日



㊤前回の様子 ㊦あいさつする那須委員長

工業部会会員に垣根を超えた交流を持ってもらおうと、「第2回会員交流大会」が8月19日の午後7時から、ユニコムプラザさがみはら(南区相模大野)で開かれる。部会活動への参加経験がない人やビジネスチャンスを広げたい人、趣味の仲間作りをしたい人などが気軽に参加できる。工業部会の単独開催。

女性経営者の参加も 趣味の話でもOK

前回大会

3月に市立産業会館で開催された第1回交流大会では、41人が参加。参加者たちは「ビジネス交流だけでなく、「お勤めの飲み屋」や「ゴルフの腕前」など、さまざまな話で盛り上がり、交流を深めていた。女性経営者の参加もあった。今回の第2回大会で



また、交流を促すためのツールとして前回好評だった「もつと交流シート」を活用。参加者たちが「困りごと(発注)」「できること(受注)」「経営・連携・交流・地域・娯楽」などを記載する。会場に掲示することで、どの参加者がどういったテーマ



交流シートを見る参加者

は、青山学院大学理工学部・経営システム工学教授の松本俊之氏をはじめ、5人の教員も参加する。同学科では、企業経営の分析やモデル化、最適化を通じ、経営改善を図る研究をおこなっており、当日は、松本教授らによる同学科の取り組みや研究内容についての紹介がされる。参加企業の経営改善に向け、企業と大学をつなぐ場としても期待される。

日時8月19日(火) 午後7時~同9時まで
会場ユニコムプラザさがみはら(ボーノ相模大野サウスモール3階) 参加費1人2,000円(問合わせは、産業振興課042(753)8136まで)

海洋技術の現地視察会

近未来技術研

近未来技術研究会(西澤勇司会長)「キャロットシステムズ社長」は9月

16日、第2回例会「JAMSTEC 海洋開発が拓く近未来イノベーション」と題した現地視察会・講演会を開く。海洋や地球物理学の研究開発を手がける海洋研究開発機構(JAMSTEC)は、有人潜水調査船「しんかい6500」や地球深部探査船「ちきゅう」などを手掛けている。今回の例会では、JAMSTEC横須賀本部を訪問。海洋調査船や研究施設の視察と東京下町の町工場が深海8000mに挑戦した「江戸っ子1号プロジェクト」の担当者による講演会を実施する。講演終了後には意見交換会も企画されている。

16日の午後0時に相模原商工会議所前に集合し、バスで現地に移動。研究設備などを視察した後、「江戸っ子1号」に携わった海洋工学センターの土屋利雄氏による講演会、意見交換を行う。最後に横須賀市内での懇親会を予定している。なお、近未来技術研究会では、2、3年先に社会で実用化されると予想される技術の研究を行っている。現在、工業部会会員の入会受付中。

ロボットビジネス協議会

新成長戦略で講演会

8月27日



佐藤名誉教授

さがみはらロボットビジネス協議会(事務局・相模原商工会議所)は、8月27日の午後6時半

同8時まで、市立産業会館3階大研修室で「ロボット革命もたらす企業イノベーション」と題したセミナーを開催する。6月に発表された政府の「日本再興戦略2014」の一つとして打ち出された「ロボット革命」。

ロボットの市場規模を製造分野で現在の2倍、サービス・非製造業分野で20倍にすることを明記。新たなビジネスチャンス創出が期待できるとして注目されている。講師には東京大学名誉教授の佐藤知正氏を招く。佐藤氏は現在、知能

ロボットの研究を手掛けており、ロボット学会の会長も務めた経歴。セミナーでは佐藤氏が新成長戦略で変わる中小企業の次世代ビジネスについて触れる。ロボットの普及により、市場がどのように変化し、どのような革命をもたらされるのか。展望を話す。参加無料。定員70人。問い合わせは、産業振興課042(753)8136まで。

独の製造業に学ぶ GETプロ 8月勉強会



新成長ビジネスGETプロジェクト(早川正彦委員長) 早川銘板製作所

社長)は、8月29日の午後6時~同7時半まで、市立産業会館・国際商談室で経営講演会「世界で戦うメイド・イン・ジャーマニー」を開く。小規模ながらも独自のコア技術、特殊技術で海外市場を開拓し、生存競争に打ち勝っている独のモノづくり企業。技術だけでなく戦略や経営発想にも独自性を持ち、技術「大国」を支える基盤にな

低炭素社会をめざして 星に願いを込めました。

いま東京ガスが目指しているのは、低炭素社会の実現です。その核となる取り組みが「スマートエネルギーネットワーク」。太陽熱・太陽光などの再生可能エネルギーを積極的に取り入れ、それらを天然ガスがバックアップ。不安定な再生可能エネルギーをガスコージェネレーションシステムと組み合わせ、未利用熱も活用しながら、地域で電気や熱を融通し合うことで、最適なエネルギー利用を実現します。

低炭素社会へ。東京ガスは取り組んでいます。
<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

エネルギー・フロンティア TOKYO GAS

スマートエネルギーネットワーク
低炭素社会への近道を、
7つの星が教えてくれました。

未利用熱 太陽熱 熱融通 天然ガス 電力融通 太陽光 バイオ・風力等

低炭素社会

星座の位置はイメージです。撮影場所：長野・東京ガスの森